

平成 27 年度、第 2 回テーマ：荻野吟子記念館と聖天山をバスでめぐる<福祉バス>
(吉見百穴、松山城跡、歎喜院聖天堂、荻野吟子資料館)

日時：平成 27 年 2 月 20 日 晴

参加人員：25 名(オープン参加者を含む)

コース：

狭山ヶ丘駅東口・ロータリー(8:30)⇒圏央道・入間 IC⇒関越道・松山 IC⇒吉見百穴・
松山城⇒聖天山・昼食⇒荻野吟子記念館⇒道の駅かわもと⇒帰路(関越道・松山 IC⇒圏
央道・入間 IC) ⇒小手指駅⇒解散(17:15)

簡単ガイド

<武蔵国:松山城(国指定史跡)> :すでに国指定史跡であった菅谷館跡に、杉山城跡、小倉城跡、松山城跡を加え、平成 20 年に「比企城館跡群」として国指定史跡となる。

<妻沼聖天山・貴惣門(国指定重要文化財)> :妻沼聖天山聖天堂の正門として建てられた雄大な八脚門で、側面(妻側)に破風を三つ重ねた類の少ない独特な形をしている。

<熊谷市立荻野吟子記念館> :記念館は荻野吟子女史の生家の長屋門を模した、瓦葺屋根・漆喰一部下見板の和風建築で、部屋は展示室と休憩室に分かれ、展示室には荻野吟子女史の生涯を時代に合わせて説明した年表や資料を展示している。



武蔵国松山城略図

スナップ写真



貴惣門(正面・側面写真)



貴惣門の前で

今回は福祉バス利用の行事でしたが時間通りに無事終了、又聖天山と荻野吟子記念館は熊谷市のボランティアガイドの名案内で楽しいバス旅行となりました。

居田